



平成 27 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 松下 功夫  
 コード番号 5 0 2 0 東証・名証第 1 部  
 問合せ先 財務 I R 部 I R グループ マネージャー  
 鈴木 隆次  
 (電話番号 03-6275-5009)

平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 11 月 4 日に公表した平成 27 年 3 月期通期連結業績予想について、修正しましたのでお知らせします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 26 年 11 月 4 日発表)	11,720,000	105,000	180,000	70,000	28 円 15 銭
今回修正予想(B)	10,870,000	△275,000	△210,000	△210,000	△84 円 46 銭
増減額(B-A)	△850,000	△380,000	△390,000	△280,000	△112 円 61 銭
増減率	△7.3%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	12,412,013	213,657	302,329	107,042	43 円 5 銭

2. 修正の理由

売上高は、原油価格の下落により、前回予想(平成 26 年 11 月 4 日発表)比 7.3%減の 10 兆 8,700 億円となる見通しです。

原油価格の下落に伴う在庫影響の悪化等により、営業損益は前回予想比 3,800 億円減益の 2,750 億円の損失、経常損益は前回予想比 3,900 億円減益の 2,100 億円の損失となる見込みです。

なお、在庫影響を除いた経常利益相当額は、原油価格の急落を受けた製品市況悪化による石油製品マージンの縮小等により、前回予想比 300 億円減益の 2,200 億円の利益となる見通しです。

[在庫影響(※)] (通期)

(単位:億円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
在庫影響	△700	△4,300	△3,600
在庫影響を除いた 営業利益相当額	1,750	1,550	△200
在庫影響を除いた 経常利益相当額	2,500	2,200	△300

※総平均法及び簿価切下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

本見通しは、通期平均で原油価格（ドバイ原油）；バーレル当たり 83 ドル（1-3月 50 ドル）、銅の国際価格（LME 価格）；ポンド当たり 294 セント（1-3月 250 セント）、円の対米ドル相場；110 円（1-3月 120 円）を前提としております。（前回予想：原油価格；バーレル当たり 99 ドル、銅の国際価格；ポンド当たり 316 セント、円の対米ドル相場；104 円）

なお、原油等の資源価格の下落に伴い、現在、上流部門を中心として関連資産の再評価を実施しています。評価結果にもとづき、減損損失等の決算への影響が生じる見込みとなった場合は、速やかにお知らせします。

（注） 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、（1）マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化、（2）法律の改正や規制の強化、（3）訴訟等のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以 上